



猿楽だより

渋谷区立猿楽小学校
令和7年11月28日
No.9

子ども発が生き生きと

副校長 市川 愛美

* 学校評価アンケート *

師走も目前となり、早いもので、令和7年度も残すところ4か月となりました。学校では、この時期から来年度のことを見据えたまとめと計画の時期に入ります。本校でも、渋谷区教育委員会からの共通の質問にプラスして、本校独自の質問を加えたアンケートを「学校評価」として、児童・保護者・地域（代表として学校運営協議会委員）の皆様を対象に実施いたします。



紅葉が
きれいです

学校評価のアンケートは、添付する資料も併せて御覧いただき、御回答願います。よそやへの皆様の意見をお聞きして、より良い教育のために、参考にさせていただきます。

また、こちらのアンケートは、やさしい言葉に直した同様の内容で、児童も回答します。実際に学校で過ごしている“主役”的児童の意見は、特に大切にしています。

よく、日本の子供は、社会を変えられるという意識が他の先進国と比べて低いと言われます。猿楽小では、「子ども発」を合言葉に、児童の考えを大切にしています。児童には、自分たちの意見や考えを表明することで、身近な学級・学年・学校という社会をより良く変えていける、という体験を積み重ねていってもらいたいと思っています。学校評価のアンケートも大切な児童の意見の、大切な表現の場です。児童にもよい機会と捉えてもらい、私たち大人も、児童の意見に誠実に向き合う機会にしてまいります。

* 子ども発がたくさんあります *

さて、「子ども発」を合言葉にして活動してきた今年度、最近も「子ども発」の姿はあちこちで見られます。いくつか御報告させていただきます。児童たちの中には、子供の力で学校を変えることができるという意識が根付いてきました。私たち教員は、そんな猿楽小の子を、頼もしく嬉しく思っています。

○普段の授業も「子ども発」、児童の言葉からキーワードを引き出すように工夫しています。児童はこちらが想定している以上の考えを発表してくれることがたくさんあり、そんな素敵なお意見が出ると、盛り上がった授業になります。職員室でも「あの考えはすごかった」とよく話題になります。

○先月11月の学校だよりでお伝えした「あいさつの森」活動中に代表委員の児童から課題意識と改善案が出てきました。開催期間途中で、よりよくするためのルール変更について話し合い、全校児童に向けて放送を入れて周知することにしました。自分たちで考えたことだからこそ、トライアンドエラーは勇気ある行動でした。

○体育館遊びが大好きな猿楽小の児童たち。体育館遊びができる日は割り当てられているため、いつも心待ちにしています。ある日、6年生の数人が体育館遊びの割り当てを、より有効的にできる方法を思いつき、校長室にお願いにきました。「みんなのためにより良くなるのなら」「6年生の他の子供たちと先生たちも話して良ければ応援するよ」と校長先生にアドバイスしてもらい、さらに担任と話し合い、子供の力で提案を実現することができました。子ども発の「ルールメイキング」など、子ども発の取組をこれからも進めていきたいと思います。

さるがく
メモリアルイヤー110!!へ

★猿楽小学校は、来年度110周年を迎えます。★

【創立110周年記念児童集会】…令和8年5月16日(土)



※土曜日授業とし、保護者・地域・卒業生の皆様も参観していただけます。

【創立110周年記念式典】…令和8年11月21日(土)

※午後はオープンデーとし、猿楽資料室や屋上などを開放する予定です。

保護者や地域の皆様、子供たちと一緒に創立110周年を様々な形でお祝いしていきましょう！